

せたがや交流情報局 第17回

# 世田谷区ファミリー・サポート・センター事業 地域で子育ての相互援助

核家族が多い現代、子育ての手伝いを近所さんに頼むのはちよつとハードルが高いですね。一方、子育て支援はしたいけれど、遠慮やためらいから一歩を踏み出せない人もいます。今回はこの二者をつなぐ、世田谷区ファミリー・サポート・センター事業を紹介します。

取材・文／麦島まゆみ



幼稚園のお迎えの後、おしゃべりを楽しむ帰り道



援助会員 下田明子さん

活動を始めるにあたって、今の子育てについていけるか心配でしたが、登録時研修やフォローアップ研修があるので助かりました。何かあれば、アドバイザーや巡回支援員に相談できるので、心強いです

## 世代を越えた「住民同士の支えあい」

世田谷区ファミリー・サポート・センター事業は、子育て中で支援を必要としている人（利用会員）に、地域で子育てを手助けしたいと考えている人（援助会員）を紹介する「住民同士の支えあい」の制度です。世田谷区社会福祉協議会が区から運営を受託しています。

平均年齢58・3歳、まさにおとな・り(re)世代の援助会員が子育て世代を支えています。両会員をつなぐ役割を担うのがアドバイザーと呼ばれる担当職員です。利用会員の要望と援助会員の活動

## 援助会員になるには？

援助会員になるには、世田谷区ファミリーサポートセンターが主催する「子育て支援者養成研修」の受講が必要です。活動に必要な科目（計24時間）を6日間の日程で受講します。次回は5月開講予定。詳細は、4月1日の区報でお知らせします。



希望を調整し、マッチングします。さらに、巡回支援員が定期的に巡回面接を行うなど、援助会員の安全な活動をサポートしています。

## 利用会員へ引き渡すまで子どもに寄り添う

援助会員の下田明子さんのある日の活動を取材しました。午後2